

門型基板分割機(V溝用)・MKCシリーズ

汎用性の高いリニアスプリット方式を採用！
背の高い部品が分割ラインに近接する電源基板にも対応できます。

特徴

V溝を下刃(線形刃)に固定した状態で上刃を移動させてカットするリニアスプリット方式を採用しているため、刃がV溝ラインから外れる事なく、正確な分割作業が可能です。

上刃と下刃が噛み合う分割ポイントが高い位置に設定されており、周辺にスペース的な余裕があるため、V溝ライン付近に背の高い部品が配置された電源基板の分割作業にも適しています。

下刃に逃げ(凹形状)加工を施す事で、分割ライン上に部品の一部が突出している基板に対しても有効に機能します。

刃の両サイドが開放されたオープン構造になっており、長手方向(刃に対して90°の方向)が制約されないため、大型基板にも対応できます。

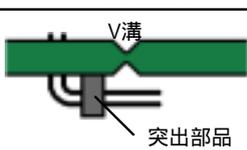
軽量で、どこにでも自由に持ち運びできるため、作業場所を選びません。また、指定サイズの特注機の製作も可能です。



部品が切断線上にある基板の分割

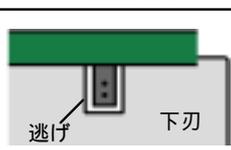
基板によってはV溝ライン上に部品が被さるように突出している場合があります。上下回転刃による切断方法では部品が下刃に接触してしまうので分割できませんが、リニアスプリット方式では下刃に動きのない線形刃を使用するため、下刃に部品の突出部を逃がす凹加工を施すことで分割する事が可能となります。

V溝断面図



突出部品

V溝側面図



逃げ

下刃

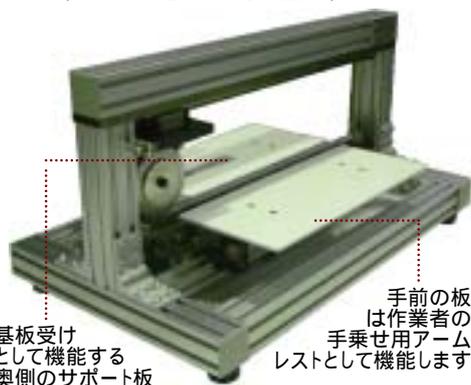
仕様

項目	機種	MKC-200	MKC-300
分割方式		リニアスプリット方式	
分割長さ		Max 200mm	Max 300mm
丸刃外形寸法		75mm (材質:SKH-51)	
対応基板		ガラエポ基板	
外形寸法		(W)470 x (D)316 x (H)290mm	(W)550 x (D)330 x (H)290mm
本体重量		約8kg	約9kg

サポート治具(オプション)

作業性を高めるための支持ボードで、手前側の板は作業者の手(基板のV溝を下刃にセットした状態)を固定するための手乗せアームレストとして使用します。

また、奥側のボードは分割後の基板(片辺)が脱落するのを防ぐため、の受け台として機能します。(スポンジ等の併用が基本)



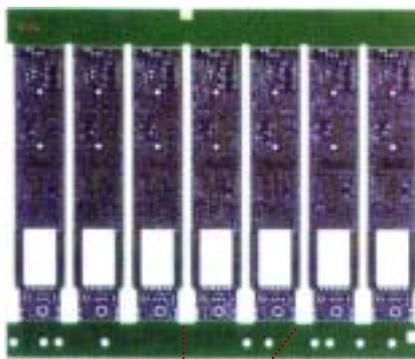
基板受けとして機能する奥側のサポート板

手前の板は作業者の手乗せ用アームレストとして機能します

カットアウト混在基板の分割

下の写真のようにV溝の途中にカットアウト穴が配置されている基板を上下の丸刃でV溝を分断するディスクカット方式の分割機でカットしようとするとカットアウト穴の箇所刃がブレてしまい、トラブルを招きます。

これに対してリニアスプリット方式の装置ではV溝全体を下刃に固定できるので、途中にカットアウト穴があっても刃がブレる事なく、安定した分割作業が可能です。



カットアウト部

カットアウト部

